

へきけんニュース

2002年8月30日発行 第32号

北海道教育大学へき地教育研究施設
〒068-8642 岩見沢市緑が丘2丁目34番地
TEL:0126-32-0208 FAX:0126-32-025

北海道立教育研究所との共同研究 - 複式学級の授業実践調査 - について

『複式学級における学習指導の在り方』第2集の作成のために、授業実践を記録する作業に取り組んでいます。調査にあたり、増毛町立信砂小学校・別荘小学校、幌延町立問寒別小中学校、和寒町立三和小学校、風連町立下多寄小学校のご協力をいただきました。

研究員がへき地校に足を運ぶという、きわめて当たり前の研究活動の重要性を改めて実感する調査でした。

学校訪問記

南部正人(旭川校)

風連・増毛・幌延・和寒の5へき地小模校へうかがい実践記録をVTRにおさめて来ました。メンバーは、村田施設長、寺田研究員(岩見沢)、濱地研究員(札幌)、須田研究員、南部研究員(旭川)の5名です。目的は、昨年発行した「複式学級における学習指導の在り方」はじめて複式学級を担当する先生への続編ともいえる「学年別指導の実践事例」編集のための資料収集です。短時間の訪問で、概観しかできませんでしたが、いくつか「よく見えた」と感じる点がありました。

最初に「よく見えた」のは、多くの校舎の美しいことと、広々としている点です。日頃、狭くて、古い教室(しかも小学生と同じサイズの椅子に座らせて!)に学生を押し込めて講義を進めている立場としては、木の素材感を生かしたデザインがあまりにも美しく、広々と輝いて見えました。中には、小規模ながら独立した棟の音楽ホールを持つ学校もあり、それだけで表現意欲が生じるというものです。

しかし、こうした校舎は、偶然できあがったものではなく、日常的に地域との関連の中で過疎化、若年者層の流出、地域産業の崩壊といった深刻な問題と学校が向き合い、学校と地域がその行く末をリアルに考えた結果なのだと、断片的に見える場面がありました。

次に、授業を通しての教師の工夫努力も「よく見えた」ものでした。子どもひとりひとりに対応した授業が求められる中で、複式学級が蓄積している少人数・個別に対応した知見・技能は豊でありました。複式授業は授業設計段階から異なった課題を展開する必要がありますが、既に単式の学級でも授業中に異なった課題を見いだすだけでなく、設計段階から個別に対応した課題を組み入れる必要すらあります。

こうした点からも、単式の大人数学級への転移が可能だと多くの場面で感じました。その一方、こうした蓄積は、教師個人や少人数の教師グループが維持・発展させるには過剰負担を強いることになる危ういものだともいえます。へき研を中心とした北教大が協力可能なものは、こうした蓄積の維持・発展にあると確認した次第です。それにしても、天塩河口から見る夕焼けは美しかった。



上川管内和寒町立三和小学校

平成14年度 研究計画および経費一覧

平成14年6月25日に示達された予算配分に基づき行われました、へき地教育研究施設 研究員会議(平成14年7月18日開催)において、平成14年度 研究計画 13件の配分額が決定しました。

なお、研究成果は、調査研究費の配分を受けた翌年度の紀要『へき地教育研究』に投稿することが義務づけられています。

「研究計画書」の様式については、へき研ホームページをご参照ください。

ホームページアドレス【<http://reiw.iwa.hokkyodai.ac.jp/hekiken/>】

研 究 課 題	研究代表者(所属) 共同研究者数	経費(円)
		配分額
インターネット会議システムのへき地教育への利用	杵淵 信(札) 他1名	95,000
環境に配慮した地域の天然素材を利用した染色教材の開発	森田みゆき(札) 他1名	158,000
道東地方の小学校における毎月の身長・体重測定による 発育の基礎的研究と健康教育	岡安多香子(札)	158,000
渡島地域の小規模校における学校図書館の実態調査	内藤 一志(函) 他1名	158,000
へき地・小規模校における国語科教育のプログラム開発	夏井 邦男(函) 他4名	158,000
地域の伝統芸能と和楽器をくみあわせた 「音楽」の教材の開発研究	尾藤 弥生(函) 他1名	156,000
へき地学校における技術科教育実践の実態調査研究() - 北海道南部地域の中学校の実態調査 -	阿部 二郎(函) 他2名	158,000
へき地小規模校のための演劇空間制作プログラムの研究	南部 正人(旭)	158,000
子どもの実態に応じた運動プログラムの作成と展開(仮題)	三浦 裕(旭) 他3名	158,000
北海道の社会科副読本にみられる酪農学習について	吉田 正生(旭) 他1名	158,000
へき地理解に資するへき地校体験の効果に関する研究	玉井 康之(釧)	158,000
学生教育の4年間のカリキュラム構成の考察を目的としての小規模 模フリースクール(夕張)での授業実践研究	倉賀野志郎(釧)	153,000
根室管内標津町における「サケ学習」プログラムの開発()	高嶋 幸男(釧) 他3名	158,000
計13件		1,984,000

